

公表版

教職に関するリカレント教育プログラムに関する調査・広報事業  
実施報告書

2021年3月31日  
株式会社 Ridilover

## - 構成 -

1. 事業概要
  - 1.1. 背景・目的
  - 1.2. 実施内容概要
  
2. 事業ターゲット像に関する調査結果
  - 2.1. サマリー
  - 2.2. ヒアリング内容
  - 2.3. ヒアリング結果
  
3. 広報施策の実施結果
  - 3.1. サマリー
  - 3.2. 専用 web ページ
  - 3.3. SNS 広告
  - 3.4. オンラインイベント
  - 3.5. チラシ、その他
  
4. 各大学の最終的な応募状況
  
5. 振り返り、今後への示唆

### <別紙>

1. ヒアリング対象者一覧
2. 潜在ターゲット層等へのヒアリング議事録
3. SNS 広告に係るターゲティング設定一覧
4. オンラインイベント参加者一覧
5. オンラインイベント当日チャットログ

※ 別紙 2.4.5.については、個人情報及び、非公開を前提に収集した個人の属性・生活に関する機微な情報を含むため、本【公表版】では割愛する。

## 1. 事業概要

### 1.1 背景・目的

就職氷河期世代は公立学校教員採用試験倍率が過去最高（13.3倍）を記録し、教員免許（以下、特記なき限り普通免許状を指す。）を取得したものの教員採用に至らなかった者が約100万人いると推計されている。全ての世代の人々が希望に応じて意欲・能力をいかして活躍できる環境整備を進めるためには、このような教員免許を持つものの教職への道を諦めざるを得なかった者に対する学び直しの機会を創出することが求められており、就職氷河期世代を対象とした教職に関するリカレント教育プログラム事業（以下、「リカレントプログラム」という。）の準備が進められているところである。

また、公立学校教員採用試験倍率は、平成25年度5.8倍、令和元年度4.2倍と、近年低下が続いている。採用者における民間企業等経験者の割合も、民間求人市場の好調等を受け平成25年度約5.5%、令和元年度約3.7%と減少傾向にある。一方、変化の激しい社会環境の中で、これからの学校には、「社会に開かれた教育課程」の実現や、アクティブ・ラーニングの実践、ICT教育の充実等新たなニーズへの対応が求められている。

こうした状況下では、民間企業等の様々な社会経験を有する者が教職への道に関心を持つことで、教員不足のさらなる進展を未然に防止するとともに、教員の多様性を担保することが重要となる。このような観点からも、リカレントプログラムの実施を通じた、公立学校教員採用試験受験者の確保が求められているものとする。

本事業では、想定ターゲットのニーズに沿ったコンテンツを、インターネットを中心とした様々なチャネルから発信することで、リカレントプログラムの講座内容だけではリーチできない潜在的に教職への道に関心を持つ層を掘り起こし、多様な人材の学校現場での活躍を後押ししていくことを目指す。

### 1.2 実施内容概要

1.1の背景・目的を踏まえ、本事業では以下の内容を実施した。

- ・潜在ターゲット層への事前ヒアリング調査の整理
- ・専用 web ページの開設
- ・SNS 広告の配信
- ・オンラインイベントの開催
- ・その他

## 2. 潜在ターゲット像に関する事前ヒアリング調査の整理

### 2.1. サマリー

本事業実施に先立ち行った、民間企業等からの転職経験のある現役教員（以下、「転職教員」という。）、教員への転職希望者、教員免許を有する主婦層、教員採用に関わる業務に従事する者（以下、「採用担当者」という。）へのヒアリング結果から、本事業において注力する潜在ターゲット層を以下のとおり定義した。

分類	インサイト	情報収集経路等
正規職員・非正規職員層	民間企業等での人材育成の経験や、現職への不満等から、潜在的な教職の道へのニーズは存在する。しかし、自身の経験等を活かして教員としてやりがいを持って働くイメージを持てておらず、現時点で教員になることへの高いモチベーションは有していない。	転職等の情報収集先としてインターネットの利用が一般的である。特に、民間求人サイトを利用して「教員免許を活かせる」教員以外の仕事に関心を寄せていることや、
主婦・無業者層	子育てを経て、「社会との接点を、仕事を通じて回復したい」「子どもの教育に関わりたい」という思いを持つ者がおり、高い就労意欲がある。一方、教員になることに対しては「採用後の環境への不安」（例えば、家事育児との両立が可能か、年齢層の異なる同僚や生徒と馴染めるか等）が阻害要因となっている。	twitterを主としたSNSの利用が盛んであることに留意する必要がある。

### 2.2. ヒアリング内容

ヒアリングに共通して使用した、基本的な質問テンプレートは以下のとおり。

#### ・転職教員（A-X）

- ✓ 経歴等
- ✓ 教員免許を取得した理由、教職を志した理由
- ✓ 教員に転職したきっかけ
- ✓ 転職にあたっての課題・障壁

- ✓ 教職に就いてみての感想（良い点、大変な点）
- ✓ 日常的に利用するメディア、特に転職活動時の情報収集
- 教員への転職希望者（B-X）、主婦層（C-X）
  - ✓ 経歴等
  - ✓ 教員免許を取得した理由。教員を志した理由。
  - ✓ リカレントプログラムへの感想
  - ✓ 今後教員を目指す上での課題・障壁
  - ✓ 日常的に利用するメディア、特に転職活動時の情報収集
- 採用担当者（D-X）
  - ✓ 経歴等
  - ✓ リカレントプログラムへの感想
  - ✓ 現場には実際にどんな転職教員がいるか

### 2.3. ヒアリング結果

計 17 名にヒアリングを実施した。

対象者等の詳細及びヒアリング議事録は、別紙 1.2. のとおり。

## 3. 広報施策の実施結果

### 3.1. サマリー

各広報施策の実績及び、最終的なリカレントプログラム応募者数は以下のとおり。

項目	実績等	備考
専用 web ページ (greenz.jp)	12,183 (セッション)	LP、記事 (2 本) の訪問者=セッション数の合計
専用 web ページ (facebook)	7581 (人)	ハブ投稿のリーチ人数
専用 web ページ (facebook)	489 (人)	各大学募集ページへの遷移者数の合計
twitter 有料広告	3,861 (回)	各広告のクリック数合計
facebook 有料広告	17,226 (回)	各広告のクリック数合計
オンラインイベント	139 (人)	開催中の参加者最大値

リカレントプログラム 応募者数	290 (人)	8大学の応募者数合計 (2021.3.12 時点)
--------------------	---------	------------------------------

### 3.2. 専用 web ページ

- ・ 方針

既存の民間求人サイトと連携し本事業専用の web ページを公開することで、インターネットを通じて転職に関する情報収集を行う者への効率的な広報や、従来私立学校や民間教育等の情報のみを得ていた層への効果的な情報発信が可能となる。また、3.3.SNS 広告の閲覧者に対しても、当該 web ページを経由してさらに詳細な情報を与えた上で、リカレントプログラムへの参加を促すことができる。当該 web ページでは、リカレントプログラムに関する基礎的な情報（プログラムの概要や、facebook 上に開設した各大学募集ページへのハブページへのリンク等）を掲載することに加え、潜在的に教職への道に興味を持つ層（以下、「潜在層」という。）の掘り起こしを図るため、1. で明確化した各ターゲット層のペルソナに訴求するコンテンツを掲載する。

- ・ 実施内容詳細

特定非営利活動法人グリーンズと連携し、以下のとおり実施した。

<ランディングページ（以下、「LP」という。）>

広告等から流入した者に対してリカレントプログラムの位置付けや意義を  
伝達するこ

とを目的として、下記のページを公開した（2020年9月9日）。



社会経験をいかして「教師」になる

社会経験をいかして「教師」になる

文部科学省が推進する「就職氷河期世代を支援した人材に資する新たな職業教育プログラム」が開始されました。これからは社会経験をいかして教師を目指す人たちのためのコースを用意します。(文部科学省発表資料)

あらためて教師を目指すために

「学生時代に就職免許をとったけど、採用試験が高くて教師の道諦めた」  
「社会で働くうちに、子供を育てるうちに、教師という仕事に興味を持った」

そのような思いを持っている人が社会経験をいかして、あらためて教師を目指すとしても、ハードルは高いものです。

そこで文部科学省は「就職氷河期世代を対象とした教職に資するリカレント教育プログラム」を始めます。このプログラムは、社会経験を積んだ人が、学習環境や経験力として活躍できるように、教職の教職事情やこれに活用した授業の手法等について学ぶことができ、模擬授業も行うことができます。全国各大学ごとに特長のあるプログラムが用意されています。

また、いわゆる「就職氷河期世代」の人の中には、教員免許を取得したものの、当時教員採用試験の競争が高かったこともあり、教職以外の道に進んだ方も多くいるのではないのでしょうか。

今回のプログラムには、そうした方があらためて教職への道へ進むことを後押しするために、30代後半から50代前半の方には受講料の減免措置が用意されています。

次世代を担う子供たちを育てるために、皆さんの社会経験を「学校教育」の現場でいかしてみませんか？

プログラムの詳細はこちら

社会経験を「学校教育」の現場でいかに意義とは？

令和2年度から始まった新たな学習指導要領では「社会に関わった教育課程」が掲げられました。地域の様々な経験を有する人材を活用しながら、学校教育を学校内に閉じず、社会と連携しながら実現していくという考えです。

これは「専門知識(外国語やICT)を持つ人材だけが学校教育に参画できる」ということではありません。子供たちは、親や学校の先生といった周囲の「おとな」を通じて社会を知り、人生の選択枝や、やりたいことを発見していきます。

そのため、子供たちがどれだけ多様な「おとな」と接点を持てるか、そのような関係を学校現場にだけ作り出すことができるか、「社会に関わった教育課程」は、こうしたことへのチャレンジでもあります。

みなさんの社会経験は、子供たちの学び、社会と関わるきっかけになります。社会経験をいかして「教師」になることを考えてみませんか？

≡ ☰

	今の自分だからこそ、できる教育がある。キャリアアップして教師になった二人が「社会経験をいかして「教師」になる」を考えた	
社会経験をいかして「教師」になる / 2020.12.22		383 名
	“社会人経験をいかして教師になる”というキャリアアップを、文部省が全面支援。「教職リカレント教育プログラム」が紹介する日本の教育の未来。そこに長年従事	
社会経験をいかして「教師」になる / 2020.11.24		590 名

(URL) <https://greenz.jp/project/social-experience-teacher/>

### <オンラインイベント書き起こし記事>

3.4. で後述するオンラインイベントの内容について、参加できなかった者への情報提供や、参加者の振り返り機会提供を目的として、当日の内容を書き起こした記事を公開した（2020年11月24日）。

## “社会人経験をいかして教師になる”というキャリアチェンジを、文科省が全面支援。「教職リカレント教育プログラム」が照らす日本の教育の未来、そこに見る希望

590 ♡ | 2020.11.24 | 社会経験をいかして「教師」になる | 池田 美砂子



“社会人経験をいかして「教師」になる。



それはまるで、エキサイティングな人生の冒険です。

(URL) [https://greenz.jp/2020/11/24/social-experience-teacher\\_report/](https://greenz.jp/2020/11/24/social-experience-teacher_report/)

### <転職教員インタビュー記事>

転職教員の実体験をもとに、民間企業等経験者が教員として働くことの難しさややりがいを明らかにすることで、「自身の経験等を活かして教員としてやりがいを持って働けるのか」「同僚や生徒と上手く付き合っていけるのか」といった不安を解消し、リカレントプログラムへの応募を後押しすることを目的として、以下の記事を公開した（2020年12月22日）。



## 今の自分だからこそ、できる教育がある。キャリアチェンジして教師になった二人が“社会人経験をいかして「教師」になる”を考えた

383 | 2020.12.22 | 社会経験をいかして「教師」になる | Fumie Matsuyama



社会から切り離された「学校」の中で、「先生」が「教科書」に沿った授業をする。そういった学校教育の一般的なイメージとは異なる教育が今、現場では展開されています。



令和2年度から始まった学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」が掲げられました。さまざまな経験を持つ地域のおとなたちの力を借りて、学校教育を社会と連携しながら実現していこうというのです。それは、子どもたちが多様な「おとな」と接点を持てる環境を、学校現場にどれだけつくり出すかという試みでもあります。



(URL) [https://greenz.jp/2020/12/22/social-experience-teacher\\_shindo\\_moroto/](https://greenz.jp/2020/12/22/social-experience-teacher_shindo_moroto/)

### <facebook ページ>

各リカレントプログラム実施大学の情報を一覧形式で掲載し、

(ア) ～ (ウ) のページ

閲覧者に対して、各大学申込みページへの遷移を誘導するため、facebook 上に専用

ページを開設した（2020年9月9日）。

<ハブ投稿>

**社会経験をいかして「教師」になる by文部科学省** ...  
 作成者: 梅原 慎吾 · 2020年9月4日 · 🌐

全国8の大学で、社会経験をいかし、あらためて「教師」を目指すためのリカレント教育プログラムが始まります。

対象は、既に教員免許を取得されている方です。お持ちの免許を更新する「更新型」と、お持ちの免許を基礎に新たな免許を取得する「新規取得型」の2つのプログラムがあります。

各プログラムの詳細は、以下のリンクをご覧ください。

- ◆香川大学（香川県高松市）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113385743828295>
- ◆滋賀大学（滋賀県彦根市）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113391433827726>
- ◆昭和女子大学（東京都世田谷区）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113393250494211>
- ◆東京学芸大学（東京都小金井市）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113393980494138>
- ◆兵庫教育大学（兵庫県加東市）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113395510493985>
- ◆佛教大学（京都府京都市）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113396393827230>
- ◆北海道教育大学（北海道札幌市）【更新型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113397667160436>
- ◆愛媛大学（愛媛県松山市）【新規取得型】  
<https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113398750493661>

※このプログラムに関心をお持ちの方は、以下のサイトもご覧ください。  
<https://greenz.jp/project/social-experience-teacher/>

7,581 リーチした人数      1,040 エンゲージメント数      宣伝できません

(URL) <https://www.facebook.com/recurrent.mext/posts/113402177159985>

<各プログラムに関する投稿例>

**社会経験をいかして「教師」になる by文部科学省** ...  
 作成者: 梅原 慎吾 · 2020年9月4日 · 🌐

\香川大学（香川県高松市）のプログラムをご紹介します！ /

【タイプ】  
更新講習型

【ホームページ】  
<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/recurrent/>

【免許更新講習】  
オンラインのみ

【採用試験対策講習】  
一部、対面式

【申込み期間】  
令和2年7月16日（木）～令和2年9月23日（水）（必着）

【特色】  
対象は幼稚園・小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭です。選択領域には道徳、教育心理、生徒指導、特別支援教育、幼児教育、学校防災に関する6科目を開講します。附属学校園等を活用した教職への支援も行います。



ED.KAGAWA-U.AC.JP

**香川大学教育学部 教職リカレント教育プログラム**

香川大学 教育学部・大学院教育学研究科：香川県

783 リーチした人数      46 エンゲージメント数      宣伝できません

- 実施結果

- greenz.jp 上

ページ	ページビュー (PV) 数	ページ別訪問 (セッション) 数	平均ページ滞在時間	直帰率	離脱率
(ア)	8340	6480	2.3	58.98%	73.82%
(イ)	4382	4118	5.29	85.81%	87.38%
(ウ)	1704	1585	6.55	79.68%	83.04%

- facebook 上

ページ (エ) のうち	リーチ人数	エンゲージメント数
ハブ投稿	7581	-
愛媛大学	1813	105
北海道教育大学	1134	41
佛教大学	1214	59
兵庫教育大学	1018	48
東京学芸大学	1448	97
昭和女子大学	1112	37
滋賀大学	819	56
香川大学	783	46

※エンゲージメント：当該投稿の URL 先 (=各大学募集ページ) への遷移者

### 3.3. SNS 広告

- 方針

30代～50代の男女で、教育／キャリアに関する関心を持つ者を対象として、ターゲット

像ごとに4つの広告を出稿した。

- 実施内容詳細

- ターゲティング  
別紙3.のとおり。
- 広告内容

<テキスト>

No	説明文
①	「自分の人生を変えてくれた先生みたいに、自分も教師になりたい」そんな学生時代の夢を、もう一度目指してみませんか？
②	「目の前の人に喜んでもらえる、そんな意義ある仕事をしたい」教員免許をお持ちなら、あらためて「教師」を考えてみませんか？
③	「就職氷河期世代と呼ばれた、自分の経験を子供達に伝えたい」教員免許をお持ちなら、あらためて「教師」を考えてみませんか？
④	「子育ての経験をいかして、子どもに関わる仕事がしたい」教員免許をお持ちなら、あらためて「教師」を考えてみませんか？

※④は、性別＝女性のように配信

#### <facebook 広告出稿の例>



#### <Twitter 広告出稿の例>



#### <動画 (②③のみ) >

✓ 女性メイン

社会経験をいかして「教師」になる by文部科学省  
 広告

「目の前の人に喜んでもらえる、そんな意義ある仕事をしたい」  
 教員免許をお持ちなら、あらためて「教師」を考えてみませんか？

～現役教師が語る～  
 「社会経験をいかして教師になる」こと

不安...

GREENZ.JP  
 社会人向け特別講座、開講

詳しくはこちら

(URL)<https://www.youtube.com/watch?v=1Et0xJbCCHQ&feature=youtu.be>

✓ 男性メイン

社会経験をいかして「教師」になる by文部科学省  
 広告

「就職氷河期世代と呼ばれた、自分の経験を子供達に伝えたい」  
 教員免許をお持ちなら、あらためて「教師」を考えてみませんか？

～現役教師が語る～  
 「社会経験をいかして教師になる」こと

企業において  
 身に付いたのかなって

GREENZ.JP  
 社会人向け特別講座、開講

詳しくはこちら

(URL)<https://www.youtube.com/watch?v=XwPwx4g0Tzg&feature=youtu.be>

・ 配信期間等

期間	パターン	備考
2020. 9. 16~2020. 10. 8	①②③④	—
2020. 10. 29~2020. 11. 9	①②③④	募集中の大学所在地周辺の都道府県をターゲティングし配信

2021. 2. 4~2021. 2. 28	②③	動画有り。前期間までの結果を踏まえ、クリック率の高いパターン及び媒体（Facebook）に限定し配信。
------------------------	----	---

・ 実施結果

<twitter>

パターン別	表示回数	クリック数	クリック率
①	31,153	121	0.39%
②	261,035	976	0.37%
③	90,284	1,228	1.36%
④	158,196	482	0.30%

セグメント別	表示回数	クリック数	クリック率
KW   教育系   女性	19,097	79	0.41%
KW   教育系   男女	401,097	2,348	0.59%
KW   転職系   女性	4,969	19	0.38%
KW   転職系   男女	171,602	660	0.38%
興味関心   教育系   女性	4,431	16	0.36%
興味関心   教育系   男女	150,067	573	0.38%
興味関心   転職系   女性	2,659	7	0.26%
興味関心   転職系   男女	49,308	156	0.32%

地域別	表示回数	クリック数	クリック率
香川大学   四国+岡山	85,719	281	0.33%
滋賀大学   滋賀+福井+三重+京都	13,291	63	0.47%
兵庫教育大学   京都+大阪+鳥取+岡山	96,675	376	0.39%

佛教大学   京都+福井+三重+滋賀+ 大阪+兵庫+奈良	99,909	348	0.35%
---------------------------------	--------	-----	-------

<facebook>

パターン別	表示回数	クリック数	クリック率
①	109,754	3,927	3.58%
②	24,551	633	2.58%
③	132,922	3,307	2.49%
④	74,384	2,765	3.72%
② (動画)	99,514	1,563	1.57%
③ (動画)	180,109	1,734	0.96%

セグメント別	表示回数	クリック数	クリック率
興味関心   教育系   女性	51,075	1,745	3.42%
興味関心   教育系   男女	198,843	5,755	2.89%
興味関心   教育系   男性	42,544	962	2.26%
興味関心   転職系   女性	23,309	1,020	4.38%
興味関心   転職系   男女	148,354	4,973	3.35%
興味関心   転職系   男性	40,607	1,021	2.51%

地域別	表示回数	クリック数	クリック率
滋賀大学   滋賀+福井+三重+京都	4,742	65	1.37%
兵庫教育大学   京都+大阪+鳥取+岡山	42,140	934	2.22%
香川大学   四国+岡山	37,751	771	2.04%
佛教大学   京都+福井+三重+滋賀+ 大阪+兵庫+奈良	37,356	982	2.63%

### 3.4. オンラインイベント

- 方針

リカレントプログラムの意義や学校現場で今求められる教員像等について、学校現場にとどまらない多様な立場から議論する場を公開するとともに、双方向のコミュニケーションによりリカレントプログラムへの応募を考える者の不安を解消し応募の後押しをすることを目的として、オンラインイベントを開催した。

- 実施内容詳細

<登壇者等>

氏名	区分	経歴等
諸戸彩乃	転職教員	出版、広告業界を経て、東日本大震災をきっかけに教育に関わりたいと思い、教育系NPO法人に転職。その後、教員（公立中学校）となり、2020年4月で7年目。教科は社会科。社会科を通してシチズンシップ教育に挑戦しています。公教育にやりがいを感じ、教育格差をなくすべく、さまざまな教育機会を提供することに力を注いでいます。NPO時代は大学等でキャリアに関する講演会、教員になった後も日本財団のイベントやNPOのイベント等に登壇。企業やNPOとの教育プログラム開発にも参加しています。勤務自治体、GIGAスクール構想推進委員。
石黒和己	教育関連事業者	NPO 法人青春基地 代表理事 1994年愛知県生まれ。2015年学部時代に青春基地を創設。中高時代にシュタイナー教育という教科書も試験もない自由な教育をうけたことを原点に、公教育の学校改革をつうじて、未来の学校づくりに取り組んでいる。2017年慶應義塾大学総合政策学部卒業、2020年東京大学教育研究科修士



		号取得。
安部敏樹	教育関連事業者	1987年生まれ。東京大学大学院博士課程在籍。2009年、大学在学中に、社会問題をツアーにして発信・共有するプラットフォーム『リディラバ』を開始。2012年に一般社団法人、翌年に株式会社 Ridilover を設立。2012年度より東京大学教養学部にて、1・2年生向けに社会起業の授業を教える。特技はマグロを素手で取ること。第1回 総務省「NICT 起業家甲子園」優勝「KDDI∞Labo (ムゲンラボ)」第4期 最優秀賞 など、受賞多数。2017年、米誌「Forbes (フォーブス)」が選ぶアジアを代表する U-30 選出。著書『いつかリーダーになる君たちへ』(日経 BP 社)『日本につけるクスリ』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)。
丹羽雅也	政策担当者	1989年生まれ。2012年文部科学省入省。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室、特定複合観光施設区域整備推進本部事務局 (IR 本部事務局) を経て、2019年より現職 (文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員免許企画室専門官)。民間企業等で得た勤務経験を学校現場で活かすための環境づくりを行う「学校教育における外部人材活用促進事業」に取り組む。

<当日タイムスケジュール>

時間	内容
19:00	ゲスト集合 + 事前確認 + テクニカルチェック

19:45	Zoom OPEN
20:00	本編開始 / イン트로 by greenz 植原 (イベントの趣旨、当日の流れ、チャットをつかったアイスブレイク、拍手)
20:10	ゲスト 一人一言ずつ挨拶
20:15	ゲストプレゼン1人目 丹羽さん (10分+5分質問)
20:30	ゲストプレゼン2人目 諸戸さん (7分+3分質問)
20:40	ゲストプレゼン3人目 石黒さん (7分+3分質問)
20:50	ゲストプレゼン4人目 安部さん (7分+3分質問)
21:00	トークセッション + Q&A
21:50	リカレントプログラムの案内 by リディラバ 梅原
22:00	締め / アフタートーク (話したりなかったこと、ゲスト同士の会話)
22:30	完全終了

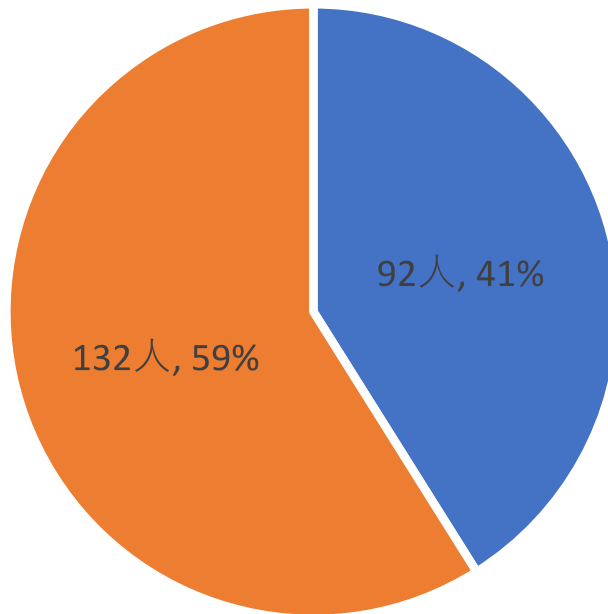
- 実施結果

<人数>

申込者数	230名
参加者数	139名

<参加者属性>

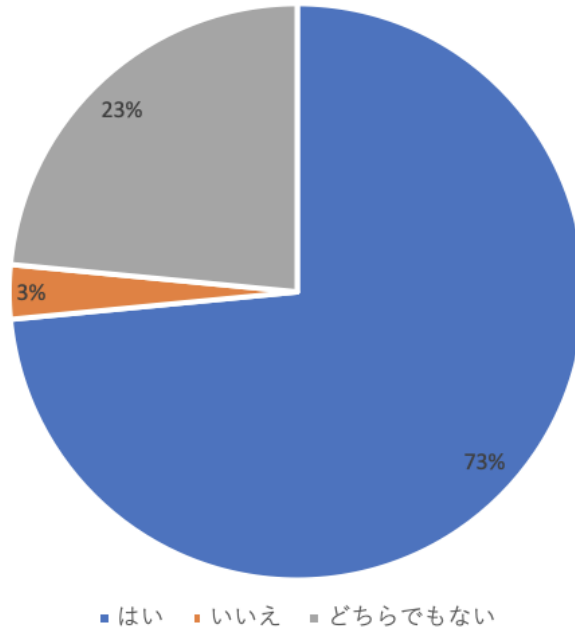
## 男女比



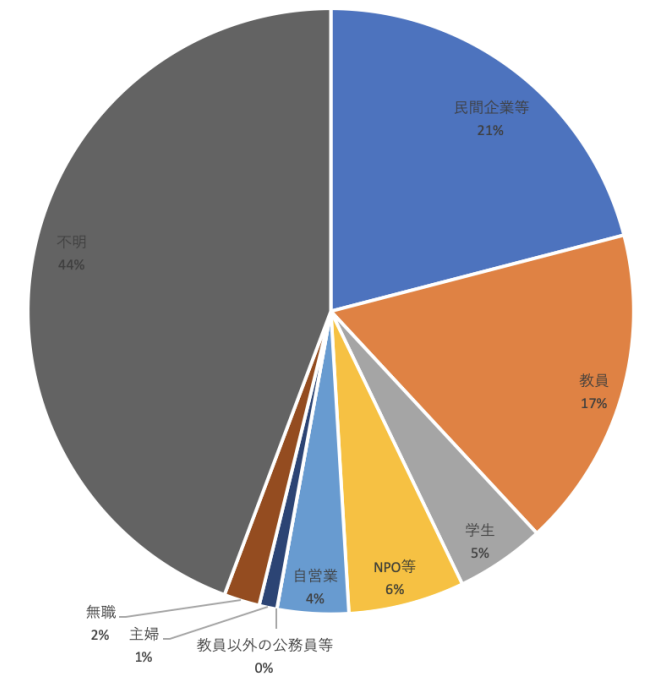
■ 男 ■ 女

※ 氏名からの推計（不明な者は除く）

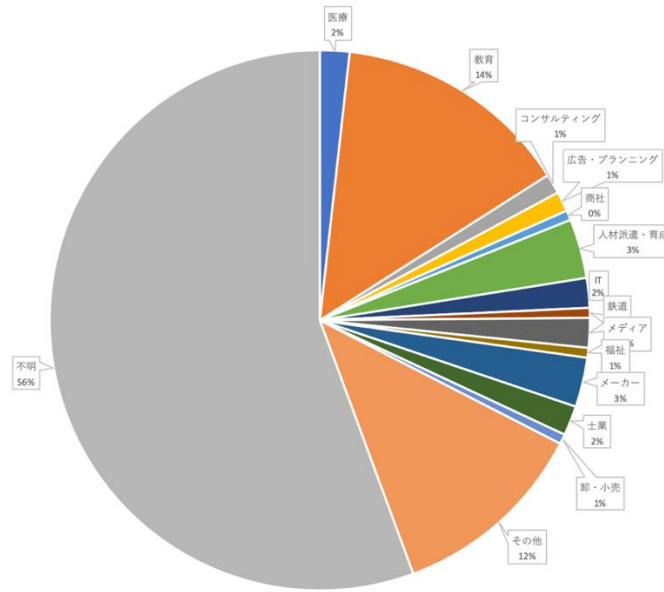
今後のキャリアの中で  
教師になることに興味があるか



職業等の内訳①（雇用形態等）



職業等の内訳②（分野）



※教員・学生は除く

・ 参加者詳細

参加者の一覧は別紙 4. 当日参加者から寄せられたチャットの記録は別紙

5. のとおり。

3.5. チラシ、その他

- ・ 教育委員会等を通じた非常勤講師等へのリカレントプログラムの周知を目的とし、チラシを制作した。

**社会経験をいかして教師になる**

教職に関するリカレント教育プログラム

文科省では、全国の大学と連携し「教職に就くリカレント教育プログラム」を開講しています。免許更新（または新規取得）講習と、教員採用試験対策講座をあわせて受講でき、加えて、それぞれの大学ごとに特色ある講座を提供しています。

教員免許を取得されたことがある方で、お持ちの免許を更新、または、お持ちの免許を基礎に新たな免許を取得して学校現場で働くための知識・スキルを、是非ぜひページをご覧ください。

**本プログラム特設ページ**

<https://greenz.jp/project/social-experience-teacher/>

2020年度に全国8つの大学で開講されたプログラムの内容については、裏面をご覧ください。

**2020年度開講プログラム一覧**

**ATTENTION**

ONLY (免許更新のみ)  
更新型 OR 新規取得型  
¥ (一定の条件を満たす方は受講料が減免されます。)

大学名	住所	電話番号	開講期間
北海道教育大学	北海道札幌市北区 味の丘5条3-1-3	011-778-0943	2020年10月5日まで
昭和女子大学	東京都世田谷区 太子堂1-7-57	03-3411-5117	2020年9月20日まで
東京学芸大学	東京都小金井市 貫井北町 4-1-1	042-329-7120	2020年10月8日まで
滋賀大学	滋賀県大津市平津 2-5-1	077-537-0320	2021年2月28日まで
佛教大学	京都市北区紫野北花ノ坊町96	075-491-0239	2020年11月30日まで
兵庫教育大学	兵庫県加東市下又米 942-1	0795-44-2421	2020年11月20日まで
愛媛大学	愛媛県松山市 文京町3	089-927-9452	2020年9月4日まで
香川大学	香川県高松市幸町 1-1	087-832-1114	2020年11月30日まで

**(凡例)**

- 住所
- 電話番号
- 申し込み期限

プログラム詳細については、特設ページ(裏面)または、各大学までお問合せください。

- ・ 就職氷河期世代へのリカレントプログラムの効果的な周知を目的とし、就職氷河

期世代当事

者ネットワーク（代表：増山 麗奈）との連携を模索した。同団体が運営するウェブマガジン

([https://note.com/hyougaki\\_sedai/m/madf2b5cc229f](https://note.com/hyougaki_sedai/m/madf2b5cc229f)) へのリカレントプログラム

告知記事の寄稿を検討したが、他記事の傾向等を踏まえ最終的に実施を見送った。

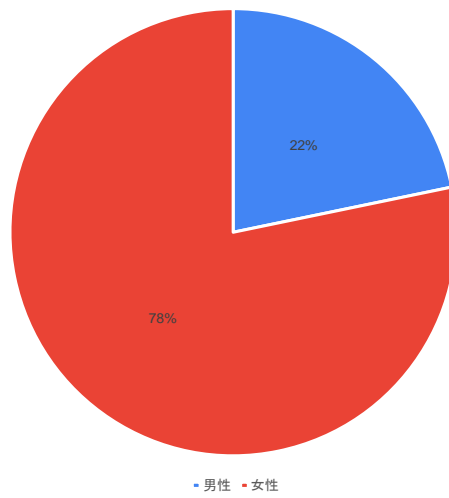
4. 各大学の最終的な応募状況まとめ

名称	定員	募集期間 (終期)	応募人数	性別人数		年齢層別人数					受講料 減免の 適用人数
				男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	
香川大学	200	11月30日	62	11	51	0	23	27	10	2	36
北海道教育大学	200	10月5日	12	3	9	0	3	7	2	0	12
愛媛大学	30	9月4日	71	27	44	14	14	31	11	1	13
愛媛大学 (延べ)	210	9月4日	443	177	266	96	87	189	69	2	86
滋賀大学	無	2月28日	104	11	93	0	15	70	19	0	80
兵庫教育大学	100	11月20日	4	1	3	0	4	0	0	0	4
東京学芸大学	50	10月8日	21	1	20	0	2	15	4	0	21
昭和女	80	9月20日	8	1	7	0	0	6	2	0	7

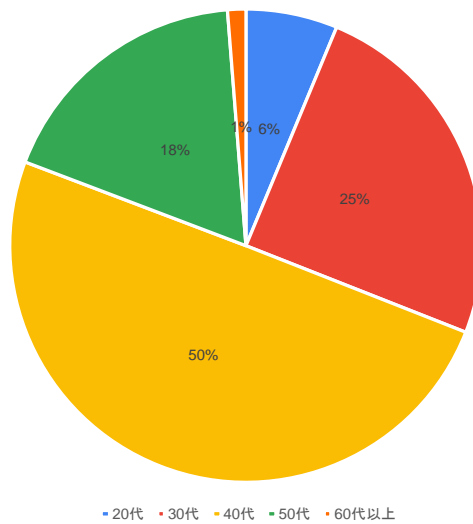
子大学											
佛教 大学	120	11月30日	8	2	6	1	1	1	5	0	3
合計※	780	-	290	57	233	15	62	157	53	3	176

※ 愛媛大学（延べ）は除く

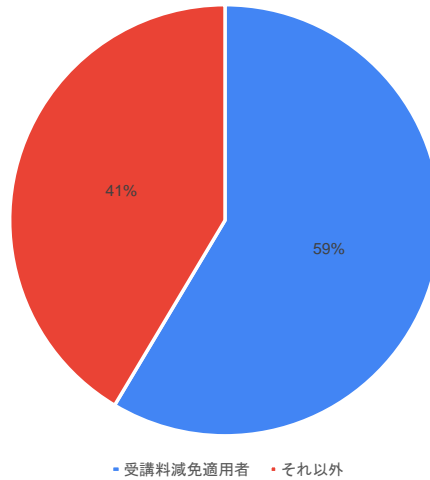
性別比



年齢比



受講料減免適用状況



## 5. 振り返り、今後への示唆

### 5.1. ターゲティングについて

今年度のリカレントプログラムの応募者の属性を見ると、4. のとおり、女性（約割）・40代（約5割）・受講料減免適用者（約6割）が多数を占める状況となった。また、facebook 有料広告のクリック率を見ると、3.3. のとおり、女性が男性の1.5-1.7倍高い状況となった。さらに、オンラインイベントの参加者の男女比を見ると、3.4. のとおり、男：女=4:6で女性が多い結果となった。

以上のことから、リカレントプログラムの潜在的な需要は女性、特に40代で専業主婦等の安定就労の経験に乏しい層に高くあり、今後当該層に特化した広報施策の立案が効果的と

考えられる。また、本事業中で実施した広報施策の中では男性層に特化して高い結果を生み

出すことができなかつたため、男性層のインサイトについては各大学への応募者の声等をもと

に引き続き分析が必要である。

### 5.2. 主な広報施策について



- web ページについて

greenz.jp 上のページについては、平均的な 1 記事あたりの PV が 1000-1500 であるところ、本事業で制作したページの PV は 1700-8400 となっている。SNS 広告からの流入があったことは考慮すべきものの、リカレントプログラムへの社会的な高い関心と、オンラインイベント書き起こしや転職教員インタビューといった人間の生の声を伝える記事内容により、想定以上の人数にリカレントプログラムへの存在や意義を認知させることが出来たものと考えられる。

facebook 上のページについては、合計 7,400 人ほどにリーチしたものの、各大学の応募ページへの送客は 1 大学あたり 40-100 人程度に留まった。本事業内では各大学の実際の応募者と、facebook 上のページ閲覧有無の関係性を明らかにすることはできないが、facebook 上のページからの送客数を増やすことで、全体の応募者数増加に貢献するさらなる余地があるものと思われる。

以上のことから、greenz.jp 上で実施したオンラインイベントの書き起こし、転職教員インタビュー等の人間の生の声を記事化する取組は、リカレントプログラムの認知拡大のため今後も積極的に実施するべきと考えられる。一方で、facebook を用いた web ページでは各大学応募ページまでの動線が複雑になっていることが送客数の伸び悩みに繋がっているものと思われ、インタビュー記事等で関心を持ったターゲット層がより簡易な手順でリカレントプロ

グラムに応募できる仕組みづくりが求められる。

- SNS 広告について

Twitter と facebook とでは、3.3. のとおり、広告パターンによらず facebook の方が高いクリック率を得た。また、一般的な転職系広告のクリック率は1-2%に収まることが多いところ、本事業の facebook 有料広告では2.5-3.5%、転職系キーワードを検索している女性層に限っては4.38%と高いクリック率となっている。

以上のことから、リカレントプログラムの募集においては facebook 有料広告が効果的と考えられる。

動画広告については、1ヶ月の配信期間における再生回数が28万回に上る一方、クリック率は1.0-1.5%とテキスト・画像のみの広告に比べて低い結果となった。フォーマット・時間等の検討の余地はあるものの、テキスト・画像のみの広告で上記のとおり一般的な広告よりも高いクリック率を得ているため、動画広告については直接的なプログラム応募者獲得よりも、事業趣旨・政策意図の認知拡大のために実施すると良いと思われる。

- オンラインイベントについて

当初定員50名程度を想定していたが、最終的に200名以上の応募を得た。リカレントプログラムへの社会的な関心の高さによるものであると同時に、場所にとらわれず参加でき物理的な人数制限も存在しないオンラインイベントのメリットが奏功したものと言える。また、参加者アンケートにおいて「今後のキャリアにおいて教師になることに興味があるか」との問いに約7割が「はい」と答えており、SNS 有料広告及びNPO 法人グリーンズによる集客は適切な母集団にリーチできたものとする。

別紙 5. オンラインイベント当日チャットログを見ると、「今日楽しかったです!!!」「いろんな話を聞いて昔教師になりたい夢が再燃しました。」「最初から最後までいい話きけました。皆さんありがとうございました」といったポジティブな感想が寄せられるとともに、「社会人経験を学生に伝導するのも教育に大事ですね。」「民間等社会人経験のある方が教員になることで、保護者との距離感も変化が起きそうですね。」等、リカレントプログラムの意義を深く理解したものと思われる感想も複数あった。また、参加者の質問に応じる形でリカレントプログラム以外の免許制度（特別免許状等）について文科省担当者が説明する等、双方

向のやり取りだからこそその情報共有・相互理解が生まれている。

以上のことから、場所・人数の制約なく、双方向のやり取りが可能なオンラインイベントは今後も積極的に実施していくべきと考えられる。また、リカレントプログラムへの応募を後押しするだけでなく、動画広告同様、事業趣旨・政策意図の認知拡大という観点での実施も効果的であると思われる。

以上